

# 東京薬科大学新聞

発行所 東京薬科大学 新聞会  
責任者 松澤敏広

十月号

# 就職

## 薬学部

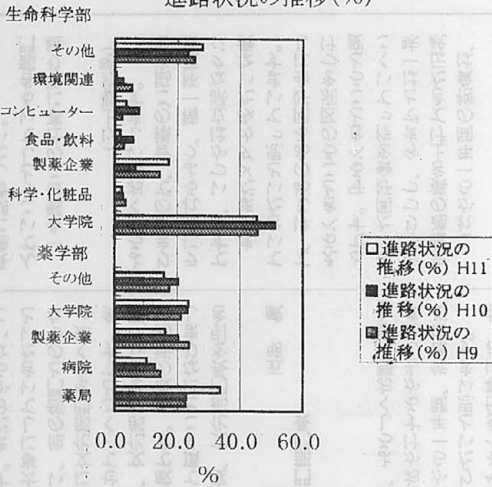
先日「大卒内定率三年ぶりプラス」との新聞報道があった。回復軌道を辿りはじめた景気は本学の学生にどのような影響を与えたのだろうか。本年度の就職状況を以下に示す。

薬学部の今年度の就職内定率は、昨年と比べ男子はポイント以上増えて六十六パーセント、女子は十五ポイント増え八十五パーセントとなっている。これは景気回復の影響のみならず、薬局（ドラッグストアを含む）の内定者の増加が少なからず影響している。

また、去年に引きつづき、薬局への就職率が上昇している。病院求人の低下に加え、薬局の初任給が高いことなどが一因として挙げられるが、景気の変動により、常に薬局が安定しているとは限らないので幅広い分野への進出が望まれる。

大学院における就職内定率は、修士課程では薬学専攻が八十二パーセント、医療薬学専攻が三十二パーセントである。また、博士課程薬学専攻で五十パーセントであり、具体的に特に変動は見られない。

進路状況の推移(%)



## 生命科学部

生命科学部の就職内定率は全体で六十八パーセントとなり、昨年とほぼ同水準の傾向にある。また、生命科学専攻修士課程終了予定者の内定率も七十三パーセントと大いに健闘している。

進路内訳を見ると、例年通り今年も卒業予定者の半数近くが大学院へ進学している。この進学率は私立大学の理工学部の中では非常に高い値である。大学院進学者にとって今後大学院各課程終了後の進路対策が必要となるだろう。

また、学科別に見ると、分子生命科学科では製薬企業や食品会社の技術職を希望する学生が多い。しかし製薬会社への就職が増える一方で、食品会社への内定者は依然として少ない。一方、環境生命科学科では環境関連企業の技術職を志望する学生が多い。だが環境関連企業は一般に大企業でも職員数二百名前後と規模が小さく、採用枠に限られている。実際、今年の内定者は若干数に留まっている。

従って、両学科においても採用枠の小さい企業を志望する学生は、単に自分の希望の進路先の採用枠の増大を期待するだけでは就職戦線に乗ることはできない。これを乗り切るためには、幅広く就職先を探る、という柔軟な思考力が求められるだろう。また、就職センターなどを利用して、就職の実態を早期に把握しておくことが重要なポイントとも言える。

また、これは学部に関係なく言えることだが、ある企業の就職担当者は自分の考えを持たない学生が多いと指摘する。どのような就職戦線に際しても、各人が自分の意志をしっかりと持ち、なおかつ柔軟な思考を持つことが必須であると言えよう。

## 米大統領選 民主 VS 共和

今秋、アメリカ大統領選における民主、共和の接戦に世界中のメディアが注目した。しかし、何故一国の大統領を決めるのにこれほど世界的に大きな役割を担っているからだろう。

中東和平に関する仲介はもろろんのこと、アメリカの景気の変動によって世界経済が大きく揺れることは間違いない。

今回の選挙の争点となったのは教育、社会保障、医療などである。それらはどれも一党だけの力では解決困難な問題だ。今回注目された二つの内、民主党は連邦政府が社会と経済に積極的介入すべきという考えに基づいて、貧民層を中心に指示されている。それに対して、共和党は保守的な考えを示し、富裕層を中心に指示されている。このように両党は全く正反対の社会層に指示されている。政策を巡る対立は百四十年も前から続いており、アメリカの政治を特徴づけるものとなった。そして今年の選挙においてもその傾向は顕著に表れている。今回の争点を考えると、長く続いてきた民主、共和の対立はどちらが当選しても更に激化する可能性があるという。当選者は争点となった問題の解決策を模索しつつ民主、共和の対立を和らげる努力をしていかなければならないだろう。また、勝敗をきかずに、両党の溝を更に深めることなどあってはならない。

複数の政党を束ね、政策をまとめていくために、これからの大統領選において、立候補者の人間性、行動力及び統率力が今よりも重視されるようになるだろう。

来年からの新大統領を筆頭としたアメリカは、いったいどんな変化を世界に見せてくれるのだろうか。気になる大統領選の最終決戦は、来年一月である。(兄咲鳥)

## 就職ガイダンス

今年も三年生を対象とした就職ガイダンスが行われる。十月二十五日に行われたガイダンスでは、就職に関する基本的な心構えについての説明があった。今後二回のガイダンスでは、就職試験報告書の提出、就職に関する手続きや面接についての指導など、実務のことに関する説明が行われる。日程は下記の通りである。

今年も三年生を対象とした就職ガイダンスが行われる。

十月二十五日に行われたガイダンスでは、就職に関する基本的な心構えについての説明があった。今後二回のガイダンスでは、就職試験報告書の提出、就職に関する手続きや面接についての指導など、実務のことに関する説明が行われる。日程は下記の通りである。

第二回 十二月十三日(水)

第三回 四月下旬

いずれも昼休みに四三二大講義室で行われる。

尚、このガイダンスは三年生を対象としているが、就職について知りたい一・二年生も参加できる。

## 薬味

山下達郎の「きつと君は来ない」が流れるJ-RCMが今年の冬、五年ぶりに復活する。彼の曲だけでなく、このCMは過去に深津絵里が出演した事でも有名だ。今年は一休が出演するのだろう。最近のCMは出演者のキャラクターを売りし、企業イメージ、名前のみを印象づける傾向がある。実際企業の名前は知っていても、それが何の会社なのか分からないものが多い。しかし、企業自体の知名度を上げるといっても効果は大きいと言え。広告だけでなく相乗効果で出演者の知名度が上がることもある。前々から人気のあったモデルがCMをきっかけにドラマに出演したケースだ。似たような効果は昔からあったが、最近では広告よりもそうした影響力の方が大きいと感じられる。日本のCMは一本あたり十五秒から三十秒だ。三時間観ても暇が沈む場面しか記憶に残らない映画があるのに、わずか三十秒で強い印象を与えなければならぬのは大変だ。限られた時間への挑戦の結果、CMは次第に商品から三十秒そのものを演出するようになった。おかげで現在のCM産業は賑わっている。しかしその一方で、昨今の演出重視のCMを生んだのもまた事実である。演出に凝るあまり、広告としての役割を果たさなくなったら、この産業は遠からず廃れるだろう。殺伐とした話題の多い番組の合間に、ちょっとした安らぎを得ることもある。息抜きとしての効果、それこそが本来のCMの在り方だ。ところがもしれない。駅のホームで織りなす小さなドラマを見せるJ-RCM。今年是我々にどんな三十秒を見せてくれるのだろうか。(工藤拓也)

# 後期学生大会

後期学生大会が今月二十九日に開かれる。これに際し、以下の四つの議案が審議される予定だ。

1、平成十三年度  
監査委員会委員長の承認  
自治委員会において、平成十三年度監査委員長として以下の者を推薦する。  
薬学部 一年 増田 晴夫

2、新歓実行委員会  
について  
平成十三年度新歓実行委員会の委員長は以下のように決定された。

委員長 永川 瑛一  
副委員長 原田 大  
副委員長 篠野 道子  
会計 羽生 祥子  
幹事長 長塚 渉  
副幹事長 佐藤 ゆふ  
新歓実行委員会は上級生の主催する様々な行事を通して、新入生特有の不安を取り除き、新入生と上級生のつながりを強め、ともに良い学生生活を送れるようになることを目的としている。

同委員会の今後の活動については、新入生歓迎キャンプやサルバサンの発行、クラスオリエンテーションが挙げられる。尚、新入生歓迎キャンプについては、以下の日程で説明会がある。たくさんさんの学生の参加を期待する。

日程 十二月一日(金)  
十一月五十分  
場所 一一一講義室

3、駐車場の  
存続問題について  
前期学生大会においても警告した通り、駐車場での学生の違法駐車問題になっていく。この問題に対する執行委員会の管理能力にも限界があり、今回の学生大会で是非を問おうと思う。

4、多摩バスの  
本数増強について  
堀之内第一第二トンネルの開通に伴い、十月二日から多摩バスの路線が変更された。この路線の変更によって、大学までの所要時間も改善がみられる。そこで、これに合わせた時刻表を新たに検討し、修正して欲しい。

5、授業料の  
引き下げについて  
休講などをした場合、その分の補講もせずに授業料が軽減されないのはおかしいと思う。休講などで全体の時間数が予定より減少した場合、その分の授業料の引き下げをして欲しい。

6、図書館棟での  
コピーカードの販売について  
図書館棟にはカード販売機が設置されていないので、コピーカードが無くなった場合学生協まで買いに行かなければならず、不便である。そこで図書館棟にもカード販売機を設置して欲しい。

次に、今回の議案の中で既に回答できるもの、審議が見送られたものについては、この場を借りて回答する。

1、薬学部事務に意見箱を  
設置する要望について  
大学に対する疑問は内容の如何にかかわらず、サポートセンターの意見箱に入れて下さい。

2、四年生Bコース  
三クラス制の見直しについて  
これについては学校側に要望書を提出し、調査を行う予定である。

3、部室の煙草の販売機の  
設置について  
前期学生大会で決議した通り、分煙キャンペーンを十二

月に行う。この議案はキャンペーンの妨げになると考えられるため、今回は見送ることとする。

4、多摩バスの  
堀之内停車について  
路線が変更されたばかりなので、これについては難しいと思われる。

5、図書館の日曜日の  
開館について  
日曜日は交通機関もなく、さらに人件費の問題点があるので、土曜日の利用状況を検討した上で、再度知らせる予定である。

最後に、豊田バスの利用マナーが大変悪く、大学から警告を受けた。皆さんモラルの問題なので気をつけて頂きたい。

## 新部門長挨拶

先日、平成十三年度の新部門長が発表された。そこで新部門長の方々に今後一年間の抱負を伺った。

体育部門長 中里 政志  
今年は何年よりも多い十二人で体育部門を運営していくことになりました。しかし、部門だけでは体育会全体を率いていくことはできません。各部の協力が必要です。それを支えとしながら、周囲の意見も取り入れていこうと思

文化部門部門長 五明 威  
この度、文化部門長を引き継いで頂くことになりました。引き続き五明威です。今後の活動の目標は、文化部門をより一層発展させていくことです。多くの人に文化部門をよく知り、思い、他の部門とのつながりを大事にしていきたいと思

同好会会長 斉藤 健太郎  
これから一年間の抱負は、先輩達の築き上げてきた伝統を守りつつ、今までは一味違った同好会を作っていくことです。守るべきところと変えるべきところの区別をつけて、けじめのある同好会にしていきたくと思っています。

学術部門部門長 梅澤 俊彰  
これから一年間、学術部門

## 薬祭を終えて

十一月三、五日の間、第四十七回東薬祭が開催された。一日目は、候補者がゲームで競うミス東薬コンテストやZEBURAを迎えての音楽祭が行われ、学内は活気に溢れていた。

二日目には、音楽関係の部活による演奏や体験実習などがあり、中夜祭では、部活対抗歌合戦などの楽しい企画で観客を楽ませました。最終日は、Dr. コバ氏の講演会、ビンゴ大会などが行われた。夕方から開催された後夜祭、ダンスパーティーはとも盛況上がり、東薬祭は大成功のうちに終了した。

東薬祭を終えて、東薬祭運営委員長川崎順一さんに感想を伺った。

「今年も皆様の御協力に支えられ、無事に三日間の日程を終えることが出来ました。今年のスタッフは例年以上に団結力が強く、このことが今年

の成功に大きく影響したと思います。成功のうちに、東薬祭を終えることができ、正直なところ、ホッとしています。この気持ちには約三百人のスタッフ全員の感想と書い

ても間違いはないと思います。皆さん、本当にお疲れ様でした。最後になりましたが、東薬祭運営に伴い御協力頂いた職員の方々、先生方、各部門の方々、そして多くの友人にこの場をお借りして御礼を申し上げます。

「一生懸命この仕事に取り組んでいこうとしている各部門長達に期待したい。」

「一生懸命この仕事に取り組んでいこうとしている各部門長達に期待したい。」

「一生懸命この仕事に取り組んでいこうとしている各部門長達に期待したい。」

## 講演会

来月、学生部主催で国際ポランテアに関する講演会が開かれる予定だ。

今回招かれるのは、国連ポランテア名誉大使として活動中の中田武仁氏である。

日程 十二月十三日(水)  
時間 十四時〜(予定)  
場所 一一一講義室  
二二三講義室  
(詳細は学生部にて)

今回の講演を機会に、学生

の皆さんがポランテアに関

心を持ち、参加するようにな

ることを願いたい。

行事予定

十一月  
二十九日(水) 後期学生大会  
十二月  
六日(水) 交通安全講習会  
十三日(水) バジネットリーダー  
二十一日(木) 年内浸染終了  
二十二日(金) 予備日  
二十五日(日) 冬期休暇開始

## 編集後記

「急に病気があった。健康の大切さを知った……(雨野) ☆薬祭、楽しかった! 一生忘れられない! というか、忘れられない! (ハニたん) \$Give Me チョコレイト、まねー、あーんど休暇+α愛。終わり(みけらん) ▲読点の数が最も多いのが私の記事だよん。さあ、どこれだ? (キユウ) 墨某シヤニーズのペンネームじゃなく、フライハイのほう